

## 全国ろう学校PTA連合会会長 柴田 祐一

全国ろう学校PTA連合会会長の柴田祐一です。今年度は二年目であります。これまで分からないながらも、理事会等の議事進行を務めてまいりましたが、至らない点も多く関係者の皆様にはご迷惑をおかけしております。

昨年度、大阪で「家庭教育を考える部会 2023」が開催されました。私も現地で会の様子を拝見し、神戸女子大学の下司実奈准教授の指導助言と亜細亜大学の橋本一郎特任准教授の講演を拝聴しました。普段お会いできない全国の会員の皆様との交流、専門家の講師の先生に直接各世代の生徒の悩みを相談して共有できる機会となりました。また、この日は参集型の良さを実感できました。今年度は東京で「家庭教育を考える部会 2024」大会が開催予定されていますので、是非多くの皆様のご参加をお待ちしております。

昨年度、私は会長職を始めるにあたり、ホームページを閲覧しました。そこに本会の目的は「地区連絡会との協調を図り、聴覚障害教育の振興発展に寄与し、聴覚障害児の幸福を図ることを目的する」とありました。活動は、各学校との連携強化、加盟校の要望を汲み取り国及び各省庁に予算要望を行うこと等が主たる活動で、聴覚障害者の幸福を願う会員と連絡を取り、各種行事や啓発活動にアンケート調査も行い、結果を集計して組織運営を行うと理解しております。

現在の本会の課題としては、少子化に伴う会員数の減少により会費の収入が減少しており、従来の活動にかかる会費を削減しないと運営が困難になっていることとあります。昨年からの課題として、理事会で協議した結果、今年度から会報をデジタル化して配信することで、印刷代、製本代、発送費を抑えることにしました。さらに現在協議中の事案として、今回支出する「家庭教育を考える部会」にかかる費用や各地区の研修会費の補助金額についても検討しております。

会員の皆様に対し、事務局を通じて今後の活動のアンケートを実施させていただき、今後の参考にしていきますのでご回答をよろしくお願いいたします。

任期も残り半年ほどになりました。振り返りますと今回の活動により聴覚特別支援教育の課題や今後の方向性などを協議し、様々な課題や情報を関係者の皆様と共有でき、学校活動、PTA活動においても考える機会を得られたことは貴重な経験になっています。

社会の状況、聴覚障害者を取り巻く環境は、近年加速度を増して変化しております。学校の予算も限られた中で、いかに効率的に教育環境整備できるか、家庭と学校が連携し、テクノロジーの変化に合わせて幼児・児童・生徒にどのような教育を推進し、自立して社会貢献が可能な人材を多く輩出できるのかも課題になると考えます。全国ろう学校PTA連合会も持続可能な組織であるために社会状況の変化に対応し、スピード感をもって活動内容について検証、協議、決議、実行を進めていかなければなりません。今後ますます様々な課題が出てくるとは思いますが、「聴覚障害児の幸福を図る」ために、本会の活動を継続していくことが必要だと考えています。子供たちのために全国の皆様と力を合わせていきましょう。